



KUSHIRO WEST ROTARY CLUB 2012~2013 (平成24年~25年)

# 釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和45(1970)年6月8日 承認 昭和45(1970)年6月10日



## 2012~2013 RI テーマ 「地域のために未来への奉仕」

《例会日：毎週月曜日 12:30~13:30》

《例会場：釧路全日空ホテル 釧路市錦町3-7》

会長 坂口 裕二 幹事 井岸 武雄

### ■クラブ事務所■

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

《本日のプログラム》 11月5日 12:30

### 普通例会

ゲスト卓話

《次回のプログラム》 11月12日 12:30

### 普通例会

ゲスト卓話

## 2012年11月5日(月) 第14回 通算1984回

【点鐘】 坂口会長

【国歌・ロータリーソング斉唱】「奉仕の理想」「四つのテスト」

【お客様・来訪ロータリアンの紹介】

国際ロータリー第2500地区 ガバナーエレクト 葎本正美 様

【会長挨拶】 坂口会長



こんにちは。まずもって葎本ガバナーエレクトには大変お忙しいところ、例会の講師をお引受けいただきまして、まことにありがとうございます。後ほどよろしくお願ひ致します。先日の地区大会での金美鈴さんの講演の中で「世の中には不条理なことがたくさんあるが、その中でもしっかりと自分というものを持って生きていかななくてはならない」という旨のお話がありました。そのお話を聞いて、私は何年か前に読んだある一冊の本を思い出しました。その本の中の一部に「子どもにとって、特に男の子にとつて一番最初に立ちはだかる厄介な存在が父親である」と書かれておりました。著者の父親は典型的な日本の「頑固おやじ」で、白いものでもその父親が「黒」と言えば黒で、そのことに対し「これは白だよ」と著者が言うと「父さんが黒と言ったら黒なんだ」と言って叱られたそうです。また、あることに関し、「これは俺の自由だろ」と著者が言うと「お前に自由などない。そんな事は自分で飯を食えるようになってから言え」と一方的に叱られたそうです。さらにこれはここにいる男性会員ならだれしもが経験したことがあると思うのですが、学生時代に好きな女の子が出来て、その子をデートに誘おうとするのですが、携帯電話などない時代ですから、その子の自宅に電話をしなければならぬ。そういう時に限って、そこの父親が電話に出て、「誰だお前は、うちの娘とどういふ関係なんだ」と何も悪い事をしてないのにこれまた一方的に叱られる。父親というものは本当に理不尽で、厄介な存在である。と書かれておりました。今の時代は親が

子どもの機嫌をとったり、すごく理解のある親であったり、用があれば携帯電話で直接本人と連絡が取れる時代で、面倒な事や厄介なことを避けて通っても生きていける時代になっています。そういう環境で育った子どもが社会に出て会社で一度上司に怒鳴られただけで、会社を辞めてしまうということが多々あると聞いております。

近年「就職難」と言われておりますが、あるテレビニュースでは大手企業の人事部長が「今は就職難ではなくて人材難です。社会人として、大人としてまともな新入社員が入ってこない」と嘆いておりました。私は日本の教育の立て直しの第一歩は、まず父親が「頑固おやじ」になることから始まるのではないかと考えているところであります。以上で本日の会長挨拶と致します。

### 【幹事報告】三木副幹事



・近隣クラブより会報、例会案内。

### 【委員会報告】

新世代委員会 金田会員

第30回釧路西ロータリークラブ会長杯柔道大会の案内

地域発展委員会 加納副委員長

献血活動参加の案内

親睦活動委員会 山本委員

★奥様誕生 谷口会員

★結婚記念 八村会員



### 【本日のプログラム】

担当 クラブ奉仕委員会

#### ■ゲスト卓話 「ロータリー財団について」

国際ロータリー第2500地区 ガバナーエレクト 葭本正美 様



我が釧路ベイRCの親クラブである、釧路西RCでこのたびお話しをさせていただき、大変光栄に感じます。私のような普通の歯医者がガバナーエレクトであることに、不満を感じている方は多いと思います。普通の人間がガバナーをしますが、一年のことですので我満してください。

私は、自分の経験したことを皆さんにお話しをし、ご意見を頂戴する一年にしたいと思っております。ですから、哲学的な難しい話をしません。常に簡単な楽しめる話を心がけた

いと思います。私を含めて、人から話を聞いて、3つしか覚えられません。絶対です。私も以前にMGについて卓話をさせていただきました。あまり良くわからなかったので、早口でPPを見て話をしました。大いに反省します。国際奉仕は良くわからないと、皆さまはお話しをします。私も良くわかりません。それで良いのではないのでしょうか。9月にGETSがありまして、3日間缶詰になって勉強させられました。ロータリー財団の話がありました。講師の先生は2時間程話しましたが、分かる人は少なく、私がPPを使って数人のGEに15分で説明して、理解してもらいました。何故説明ができないのでしょうか？それは、経験が無いからです。

私の年度から、「未来の夢計画」が始まります。我が地区でも7月にセミナーをしました。講師の話に皆さんチンプンカンプンです。一般会員に難しい手続きその他を、説明しそれらを皆さまに理解していただく必要があるのでしょうか？私は無いと思います。私の年度から「未来の夢計画」が始まります。MGは規模が大きくなります。RIから補助を合わせて30,000 \$ 以上です。ロータリーの友で田中RI会長が書いている様に、お金を大きくかけなければ、丈夫な事業ができず、長年使用出来るものを作らなければいけないと書いています。各クラブ単独で出ることではないです。地区のDDFを使わなければいけません。未来の夢計画の目標は、プログラムを運営を簡素化すること。グローバルな成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること、地元と海外、両方の活動を支援すること等色々目的はあります。RI 2500地区は、集めたお金は下の順位ですが、活用したお金、事業は上の順位です。これは素晴らしいことです。私達の100 \$ は少ない所得の中から出して戴いた、貴重な寄付金です。中央の景気のいい地区ではありません。本当に貴重なお金です。この貴重なお金の活用は、小船井委員長初め、笹谷副委員長の力です。笹谷委員長に至っては、優れた英語力を使い、外国とのやり取りをしてくれております。国内に於いても幅広い人脈を使い、財団の事業に取り組んでおります。私と同じ歯科医ですが、何時仕事をしているか心配になることもあります。

さて、まず私達が考えることは、日本人に生まれて本当に良かったと言えることです。蛇口をひねると、飲むことのできる水があります。安全で平和な所です。色々なものが食べることができます。病気になれば医療が受けることができます。徴兵制度もありません。こんな良い国が他にありますか。私の今の信条は「ちょっといい気分になる」と言うことです。他の人から見たら、いいふりこいて見えます。しかしちょっといい気分、あまり大きくいい気分になると皆から叩かれます。「ちょっといい気分です」私が入会した時は100 \$ = 30000円以上です。今100 \$ = 8000円です。8000円で困っている人が少し良くなると思ってください。「ちょっといいお気分です」気持ち良く財団に寄付をお願いします。

#### 《例会運営委員会 加藤委員長》

11月 5日	在籍数 26名	出席免除者 6名	出席義務者 21名	「編集:佐藤会員」
	名誉会員 1名	出席者 14名	欠席者 12名	出席率 53.8%

会報委員長:	佐藤 和彦	副委員長:	山本 秀基	
委員:	佐久間 好明	金田 剛	櫻田 美香	小泉 和史